

# 平成 28 年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成 29 年 4 月 4 日

研究・研修課題名	公益財団法人日本体育協会公認アスレティックトレーナー資格取得のための研修補助
研究・研修組織名（所属）	リハビリテーション部
研究・研修責任者名（所属）	松本拓也
共同研究・研修者名（所属）	松本拓也

## 目的及び方法、成果の内容

### ①目的（800字程度）

リハビリテーション部門では、平成 26 年 4 月よりスポーツ選手の競技復帰に向けた、「スポーツリハビリテーション外来」を開設した。スポーツリハビリテーションでは通常の理学療法の意識に加え、より専門的な知識が必要である。スポーツ支援に特化した資格として「日本体育協会公認アスレティックトレーナー（以下 AT）」があり、国内でも認知され国際大会などの支援でも必須となる資格である。本研修の目的は資格取得に向けて、指定研修を受講するものである。なお昨年度に共通科目研修と共通科目試験、専門科目 1・2 期は終了しており、本年度は専門科目 3・4・5 期を受講し、認定試験、実技試験に合格することを目的とする。

### ②方法（800字程度）

アスレティックトレーナーは各県体育協会の被推薦者が指定講習を受け、試験に合格することで取得できる。本院の松本拓也理学療法士が島根県代表として島根県体育協会より平成 27 年度受講開始の推薦を受けたため、昨年度から受講しており、本年度も受講可能な研修を受け所定の単位を取得する。

#### ① 専門科目 3 期【日産スタジアム内、スポーツ医科学センター】

日時：6 月 23 日～27 日

#### ② 専門科目 4 期【日本体育大学、帝京平成大学】

日時：8 月 21～8 月 27 日

#### ③ 専門科目 5 期【スポーツ医科学センター（愛知）】

日時：10 月 8 日～10 月 14 日

#### ④ 専門科目検定試験【東京フォーラム 8】

日時：11 月 11 日

昨年度受講した専門科目 1・2 期と本年度受講した専門科目 3・4・5 期終了後に行われる専門科目試験も受講し、検定試験を合格した後に実技試験を受講する必要がある。

### ③成果（データ等の図表を入れて 2000 字程度）

上記方法の①～③の研修、試験を受講することが可能であった。昨年度専門科目 1、2 期を終了していたため、本年度行われた専門科目 3、4、5 期を受講することが可能であった（図 1）。専門科目に関しては集合科目 3 期、4 期、5 期（図 2）の集合講習に参加した。3 期は日産スタジアム内の横浜氏スポーツ医科学センターにて 6 月 23 日から 27 日に実施された。3 期の集合研修では実技が主

な内容を占めており、内容としては検査測定の意義について、姿勢・アライメント・計測・関節弛緩性の評価、運動器のスペシャルテスト、関節可動域、徒手筋力検査、身体組成、体力測定総論・演習を行い、最終日に仮装ラグビーチームのデータを元に、フィードバック資料を作成し、発表を行った。4期の集合研修でも主に実技研修を行った。内容としては、予防とコンディショニング、コンディショニングの方法と実践を研修全体の前半に行い、後半では救急処置、運搬法実習、心肺蘇生法実習を行った。最終日には現場における救急体制として、実際にシミュレーション演習を行った。5期の集合研修でも実技が主な内容となっており、内容としては、アスレティックリハビリテーション、運動療法の基礎知識、物理療法を行った。アスレティックリハビリテーションは上肢、下肢、体幹にカテゴリー分けされており、加えて競技種目特性にも振り分けてあった。

以上の集合研修会を終了することができたため、28年11月11日に実施される理論試験を受験することが可能であった(図3)。試験の結果としては合格の得点には至らず不合格であった(図4)。

なお理論試験は最大で4回受講することが可能であり、29年度も受講する予定である。理論試験に合格すれば、2、3月に実施される実技試験を受講する事ができる。全てを合格すると30年度に体育協会公認アスレティックトレーナーに認定される。来年度も引き続きアスレティックトレーナー取得に向けて取り組み、当院のスポーツリハビリテーション外来で専門的に臨床業務に取り組んでいきたい。